

# ご挨拶



## 就任のご挨拶

竹野 幸夫

医歯薬保健学研究科 医歯薬学専攻  
医学講座 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学 教授

平成30年4月1日付けで、平川勝洋教授の後任として広島大学大学院医歯薬保健学研究科 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学教室の第6代目の教授に就任いたしました竹野幸夫です。私は広島大学附属高校を卒業後、昭和62年に京都大学医学部を卒業し、内耳の研究で有名な原田康夫元広島大学学長のもとで耳鼻咽喉科講座に入局しました。その後大学院を修了して、トロント大学耳鼻咽喉科で聴覚生理の研究と内視鏡下副鼻腔手術の修練。その後、耳科手術で伝統ある帝京大学耳鼻咽喉科に国内留学をして、現職に至っています。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は「小さな宇宙」と呼べるほど、非常に多種多様な専門領域をカバーしています。

1) アレルギー・免疫学、2) 聴覚・平衡感覚、3) 形成外科、コズメティクス、4) 甲状腺疾患、扁桃疾患、内分泌外科、5) 音声、嚥下・咀嚼、6) 味覚・嗅覚、そして、7) 頭頸部悪性腫瘍、などなど、進路選択にも多くのオプションが用意されています。教室を主宰するにあたり、これまでに蓄積した知識と技術を用いて、幅広く研究を展開し後進の指導に取り組んでいきたいと思っております。また、若い先生には積極的に外へ出て、価値観の異なる環境で育った人と交流し、いろいろな経験を積んでほしいと思っています。若輩者ですがこの伝統のある教室を、ますます発展させていこうという意気込みだけは引けを取るまいと思っています。皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 就任のご挨拶

内藤 真理子

医歯薬保健学研究科 口腔健康科学専攻  
口腔健康科学講座 口腔保健疫学 教授

このたび天野秀昭教授の後任として、医歯薬保健学研究科口腔保健疫学教授を拝命し、平成30年4月1日付けで着任いたしました内藤真理子と申します。

平成3年に九州歯科大学を卒業後、産業医科大学歯科口腔外科および九州歯科大学小児歯科で歯科臨床と研究に従事し、口腔癌の基礎研究により歯学博士号を取得しました。その後、臨床疫学に対する興味がきっかけとなり、卒後10年目に疫学者として新たなスタートを切ることとなりました。

京都大学大学院医学研究科健康情報学に移り、中山健夫助教授（現・同教授）の下、臨床疫学研究に携わりました。平成16年に名古屋大学大学院医学系研究科予防医学に助手として着任し、平成22年からは准教授として、医学部の学部生や大学院生の社会医学教育に従事してまいりました。

名古屋大学では、平成17年に開始された10万人を対象とした分子疫学コホート研究（J-MICC Study）の担当コホート地区の運営管理を行うとともに、中央事務局長を務めました。また、口腔と全身の健康の関連やQOL/PRO（患者報告アウトカム）に関する研究テーマを継続し、現在に至っております。

幸運にもご縁と周囲のサポートに恵まれ、研究者として多様な経験を積み重ねることができました。これまでの経験を歯学部教育や今後の共同研究に活かしながら、将来のリーダーとなる人材を育成したいと考えております。微力ではありますが、広島大学の発展に貢献できるよう力を尽くす所存です。諸先生方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。